

# 幼

幼稚園から大学院まで23の学校施設を所有し、約10万人の在校生を抱え、本年3月の卒業式でOBの数は100万人を突破したというマンモス学府、日本大学。固定資産は6700億円ともいわれ、また、その年度予算は2700億円にも上り、これは地方都市の一般会計予算にも匹敵する。今、この日本最大の教育機関は、学校教育にはふさわしくない人物によって危機に晒

## 日本大学総長選挙の魑魅魍魎①

### 田中英壽常務理事の狂った野望

実弾入りの脅迫状が届けられ、この差出人が田中氏の後援会名義であったことが2人の決裂を決定付けた。

#### 繰り返される権力闘争

瀬在氏の任期満了に伴う総長選で、瀬在氏陣営は生物資源科学部長である佐々木恵彦氏を推したが、田中氏陣営は「反瀬在」を打ち立て、当時理工学部長だった小嶋勝衛氏を担ぎ

されようとしている。

今年6月、この巨大組織の頂点「日本大学総長」の3年に一度の総長選挙が行われる。総長選のたびに膨大な年度予算をめぐる権力闘争が巻き起こり、怪文書まで飛び交うのが常だが、今回の選挙はかつてないほどの攻防戦がすでに水面下で始まっている。学内外の注目を集めている。新学期のスタートと共に学内は一挙に選挙モードに突入した。その渦中

にあり、なりふり構わぬ攻略を巡らしているのが、悪い噂の絶えない人物、田中英壽日大常務理事である。田中氏は数多くの力士を輩出した日大相撲部出身で、監督も務めている人物だが、戦後最大の経済事件といわれる「イトマン事件」の黒幕・許永中被告や暴力団関係者との関係が常に取り沙汰されている人物である。田中氏は当初、1996年から3期9年間にわたり総長の座に君臨し、

「天皇」とまで呼ばれた第10代日大総長・瀬在幸安氏の選挙参謀として非常に近い関係にあった。しかし、田中氏が日大の校舎などの新築工事を発注する際、ゼネコン業者から多額のキックバックを受け取っているなどの「悪い噂」により、瀬在氏が田中氏を次第に遠ざけ、別の常務理事に人事権などの権限を集中させ、事実上、田中氏を切り捨てた。また、2003年末、瀬在氏宅に、

出し、事務局職員や各学部長を接待潰けにするなど、露骨な事前運動を展開した。その甲斐あって、小嶋氏が第11代総長に当選した。

しかし、選挙戦の最中、田中氏の露骨な金権体質と、周辺を取り巻く暴力団関係者との関係により、教職員からも批判的な意見が多いことを小嶋氏も次第に知ることになる。小嶋氏は、総長選挙戦の見返りとして

田中氏を総長に次ぐポストである「理事長」に就任させることを約束していた。しかし、「田中理事長案」を申し出たところ文部科学省より、暴力団との関係を取り沙汰されている人物を学校法人の代表者である理事長に就任させることに強い難色を示されたため、小嶋氏はやむなく自ら理事長を兼務することを決定した。理事長に就任させるとの約束を

反故にされた田中氏は次第に小嶋氏を敵対視するようになった。本年6月下旬の総長選に向けて、田中氏は「反小嶋」の旗を翻し、票集めに奔走している。田中氏の「取り巻き」といわれる、生産工学部長・石井進氏、歯学部長・大塚吉兵衛氏、芸術学部長・野田慶人氏、松戸歯学部長・牧村正治氏の、通称「田中4人組」と称される学部長の中から総

# 社会

長候補を押し立てようとしたが、誰の目にも彼らの力量不足は明らかであることから、急ぎよ、生物資源科学部長・酒井建夫氏を強引に説得している。しかし、文科省内部では、田中氏にまつわる数々の黒い疑惑を把握しており、田中氏推薦候補として立候補した場合、酒井氏についても難色を示す可能性が極めて強く、イメージ的にもこれまでの経歴に泥を塗る感否めない。現在、酒井氏の動向が注目を集めている。

#### 田中氏を取り巻く悪い噂

日本大学内の建設・修繕などの年間総予算は400億円に上る。その陰の総責任者と噂されるのが田中氏



日本大学の小嶋勝衛総長・理事長

取材を申し込んだが返事はない。本年3月、日大校友会より千代田区五番町の日大別館跡地に「校友会館」を新設するとの発表があったが、校友会会長を兼任する田中氏の一存で当該工事の請負業者が決定し、総長選の軍資金をバックマージンとして請負業者から供出させているとい

であり、工事業者の指名・発注はすべて田中氏グループに一任され、入札のルールも監査もないという。04年の芸術学部校舎建て替え工事の指名・発注も田中氏グループの一存で行われたという。受注したゼネコンは、発注の謝礼として、合計3000万円を無名の建設会社である株式会社枝三（たくみ）の社長に支払うよう指示を受け、支払ったという。この株式会社枝三とは、田中氏の御用会社であり、田中氏の夫人が実質経営者であると噂されている会社である。この株式会社枝三を絡めた工事発注は、他にも体育会の学生寮新設工事など複数あり、これまでに田中氏に流れた金は数億円に上ると見られている。株式会社枝三に

から190億円もの補助金を受けている学校法人の支出としては問題視されるべきことだ。これまで田中氏は新学部長就任の際には自ら祝いの宴を設けて困い込みを囿り、「若葉会」なる派閥組織を結成し、勢力を強めてきた。「祝いの席に呼ばれたので出席しただけだ」と派閥入りを否定する学部長も多いが、優柔不断な者も多く、田中氏の権力は日を追って増大している。100万人のOB諸氏や教職員は伝統ある日本大学の次期総長選挙を固唾を飲んで見守っている。



日本大学の田中英壽常務理事